



いいで町

200号

議会だより

高齢者の除雪支援に取り組む



降雪前の敷地写真を確認

12月定例議会



携帯・スマホからアクセス!

議会だより200号特集	P 2～P 3
12月定例会・臨時会 補正予算他	P 4～P 5
政策提言 義務教育学校開校に向けて他	P 6
町政を問う 9名の一般質問	P 7～P 11
意見交換会(商工会・黒沢地区)	P 16
町民からのメッセージ	P 20

町議会の取り組みをお知らせする「議会だより」は、昭和51年4月創刊以来49年が経過し、本号で200号を迎えました。県内町村ではいち早く創刊されたとお聞きしています。

今改めて「議会報縮刷版」を読み返してみると、町ではこの49年間で町民総合センターはじめ、各福祉・医療施設、小中学校、幼保育園、道路や農地、農業集落排水事業、そして観光・温泉保養施設など、町民生活を豊かにするための多くの事業が行われてきました。町執行部はもとより多くの先輩議員のご苦労が伝わってきました。情報公開としての「議会だより」が果たす役割の大切さを認識しつつ、より紙面の充実を図りながら、町民の皆様に愛される議会報づくりに心がけてまいります。

(広報公聴常任委員会)



第100号 発行 平成13年1月27日

編集：議会広報委員会

委員長：黒澤 長彬 副委員長：米野弥寿男

委員：鈴木 誠 屋嶋 俊一

木村 勝男 横山 勝雄

【主な内容】

- 新 町 長 齋藤正三郎氏
- 新 議 員 嶋貫 栄助氏 長沼 桂子氏
- 一般質問 米野弥寿男 長沼 桂子
木村 勝男 黒澤 長彬
屋嶋 俊一 手塚 新蔵
- 主な議決：補正予算農集排水事業への繰出金
飯豊町農林水産物処理加工施設
(豆腐等加工場)の請負契約の締結

【この年の出来事】

- ・10/31新町長に齋藤正三郎氏が当選
- ・白川ダム20周年記念事業
- ・飯豊町議会刷新特別委員会
- ・議会に中継システムが導入される

第150号 発行 平成25年7月25日

編集：議会広報常任委員会

委員長：嶋貫 栄助 副委員長：後藤恵一郎

委員：山口 文隆 鈴木 敏夫

船山 清一 長沼 安義

【主な内容】

- 平成25年度施政方針 町長 後藤 幸平
- 総括質疑 船山 清一議員
- 平成25年度予算特別委員会報告
- 飯豊町議会刷新特別委員会設置
- 一般質問 鈴木 敏夫 山口 文隆
- 主な議決
 - ・飯豊町中小企業等振興条例
 - ・飯豊町ふるさといいですな条例



【この年の出来事】

- ・飯豊町議会「皆さんと語る会」開催
- ・林道飯豊檜枝岐線の開通
- ・飯豊町活性化検討特別委員会
- ・(株)LD F山形工場3月末で閉鎖

祝 いいで議会だより 創刊200号を迎えて



第1号 発行 昭和51年4月25日

編集：議会広報委員会
委員長：古山 政次 副委員長 味田 市郎
委員：金田 直次 川崎與右衛門
佐藤甚太郎

【主な内容】

- 発刊にあたって 議長 渡部 孝吉
- 施政方針 町長 樋口 俣三
- 一般質問 井上 弥助 伊藤 晃栄
川崎與右衛門
- 主な議決 白川ダム関連施設整備基金の廃止
- 昭和51年度予算審査
- ロッキード汚職真相究明についての意見書

【この年の出来事】

- ・ 異常気象 冷害の年
- ・ 手ノ子小、中津川小の改築事業着手
- ・ とよさと荘オープン

第50号 発行 昭和63年7月25日

編集：議会広報委員会
委員長：鈴木 重幸 副委員長 井上 俊一
委員：舟山 民雄 小笠原英信
長沼 清次 浅野 與次

【主な内容】

- 町政30周年記念式典
- 町民憲章を制定
- 第6回白川ダム湖岸マラソンに2,300名
- 福祉の里づくりに着手
- 一般質問 舟山 民雄 浅野 與次
井上 俊一 舟山 忠一
- 大幅に伸びた公共事業 10億4千4百万円



【この年の出来事】

- ・ 手ノ子幼稚園設計、飯豊中建設設計、町民総合センターの用地決定
- ・ 非核・平和の町を宣言（議員発議）
- ・ 国鉄長井線が第三セクターでスタート

第3セクター指定管理料の追加

11月臨時議会、12月定例議会 補正予算等の概要

一般会計補正予算（第7号）の主なもの （歳出）

地域づくり推進事業補助金 200万円

小白川地区

農家レストラン運営事業 703万円

エルベ 物価高騰に伴う指定管理料の追加

緑地等利用施設運営費 2246万円

しらさぎ荘 物価高騰による指定管理料の追加等

自然環境活用事業 465万円

白川荘 物価高騰による指定管理料の追加等

除雪事業 ▲2098万円

消雪設備改修工事の減額等

義務教育学校開設準備費 215万円

学校統合に伴う工事請負費の追加等

文化財維持管理事業 ▲573万円

天養寺観音堂復旧工事精査による減額

スキー場管理運営事業 205万円

人件費高騰等に伴う運営管理業務委託の追加

道路橋梁単独災害復旧事業 700万円

委託料の追加

一般会計補正予算（第8号）の主なもの （歳出）

特別職・一般職の人件費 3397万円

人事院勧告に伴う人件費の追加

令和7年第6回臨時議会は11月19日に開催され、新たな工事請負契約1件及び工事請負契約の一部変更1件が上程され、可決決定しました。（詳細は次項）

12月定例議会は12月4日から12日までの9日間開催され、一般質問は議長を除く9名から、その他諸般の報告、行政報告、条例2件、各会計補正予算7件が上程され、原案のとおり可決しました。第7日目の総務文教・産業厚生各常任委員会では所管事務調査が行われ、最終日の12日には追加提案の一般会計補正予算（第8号）を含む各会計補正予算が上程され、賛成多数で原案のとおり可決し閉会しました。

表紙の説明

高峰地区の除雪支援隊。令和7年度から社会福祉協議会の協力をいただきながら75歳以上の一人暮らしの方を対象に敷地内（軒下・間口）除雪の支援をしてくださる「ゆいの里除雪支援隊」の皆さんです。

降雪前の現場写真の確認を全隊員で共有して安全に作業できるように取り組んでいます。

12月4日、町長から報告

義務教育学校の開校時期を令和14年度に延期。「いいでの森学園」という名称は、令和8年1月にアンケート調査を実施し再検討するとのこと。

条例・契約

契 約 （11/19臨時議会・12月定例議会）

原案のとおり可決決定。

- 令和7年度西高峰橋架替工事（下部工）
請負契約の締結
契約額 6,215万円 那須建設(株)
- 令和5年度繰越（4年災）町道舟越線並松山橋
橋梁災害復旧工事請負契約の一部変更
変更前 14,850万円 変更後 15,351万円
工 期 11月28日 → 令和8年3月30日
理 由 融雪で一部損傷流出のため
- 令和6年災第6502号町道大平線道路災害
復旧工事（ゼロ債）請負契約の一部変更
変更前 18,021万円 変更後 18,377万円
工 期 12月19日 → 令和8年3月30日
理 由 設計の一部変更

条 例 （12月定例議会）

原案のとおり可決決定。

- 飯豊町特別職の職員の給与に関する
条例の一部を改正する条例の制定
（最低賃金が改正される見込み
から改正するもの）
- 飯豊町放課後学童クラブ設置条例
の一部を改正する条例の制定
利用料金月額 5千円 → 7千円
（物価高騰による）
反対2名
反対理由 2千円の値上げで年間
300万円収入増となるが、このた
びの重点支援地方交付金等で対応
できないのか。

補正予算の主な質疑

- 横山議員** 町たばこ税
300万円の減額理由は。
税務会計課長 令和7
年度当初予算では、前
年度実績程度の税収を
見込んでいたが、5月
に小売店の閉店があり
減額した。
- 島貫議員** 廃棄物運搬
に係る90万円の増額理
由は。
住民課長 一般家庭ご
みの増加により時間外
に増車した分。
- 遠藤（純）議員** さくら
んぼ結実確保緊急支援
補助金の内容は。
農林振興課長 さくら
んぼ訪花昆虫の減少で
受粉率が落ちているた
め、訪花昆虫及び花粉
- の購入を助成するもの。
高橋（勝）議員 義務教
育学校開校準備費の業
務委託契約の内容は
教育総務課長 引越し
分の業務委託料の追加。
- 舟山議員** 分館施設補
助の内容は。
社会教育課長 上郷公
民館合併浄化槽工事。
- 遠藤（芳）議員・松山議
員** 農家レストラン、
緑地等利用施設、自然
環境活用施設の指定管
理料の増額理由及び債
務負担行為の積算根拠
は。
商工観光課長 指定管
理料は今年度の不足分
と過年度を精査したも
の。債務負担行為は令
和6年を基準に計算し
- ている。
高橋（亨）議員 消雪工
事2100万円の減額
理由は。
地域整備課長 社会資
本整備総合交付金が減
額されたことによる。
- 菅野議員** 歳入で個人
住民税所得割のこの時
期の増額理由は。また
地域活性化起業人負担
金342万円の減額理
由は。
税務会計課長 5月特
別徴収、6月普通徴収
の賦課、8月に扶養の
申請が出てこの時期の
調整となった。
商工観光課長 公募に
対し応募がなく、半年
分減額した。

町に対し
政策提言

教育環境の整備・ 災害復旧・商工業支援を

政策提言の趣旨

飯豊町議会基本条例では、「町民の意見を把握し、政策形成に反映させるため、意見交換会を開催するものとする。」と定めています。本町では本年度、クマの出没によって町民生活が脅かされる事態が生じております。

そのほかにも人口減少や少子高齢化によって生活に不安が出ることもなっています。

1 義務教育学校開校に向けた教育環境の課題について

- 1 深刻な少子化の状況下、義務教育学校の施設整備や開校時期等において、将来の町政運営に最も効率的な教育環境を再検討すること。
- 2 義務教育学校及び学校統合において、将来的には5校の空き校舎が発生するため、その利活用策を早期に示すこと。その際には町民の意見等を十分に反映すること。

2 JR米坂線の早期復旧について

- 1 国・県・JR東日本などに対し、「再構築協議会」等の設置を求めるよう要請し、早期に公共交通のあり方を検討し、沿線住民の生活を確保すること。

3 脱炭素先行地域事業の着実な実施について

- 1 町民の理解と協力なくしては成し得ない事業であり、町民の総意のもとで取り組むこと。このため事業目的と、まちづくりへの効果を詳細に示しながら事業をすすめること。

4 第三セクター（地域振興公社）における経営健全化について

- 1 昨年度作成している経営健全化計画を遂行し、経営改善に努めること。
- 2 今後は事業目標と政策目標を区別し、政策目標を達成できないと判断される事業や業務については、大胆な事業縮小等に取り組むこと。

5 商工業活性化のための支援について

- 1 人口減少そして町内で買い物を行う高齢者等の生活を守るため、商工業者の経営支援を継続・拡充すること。
- 2 緊急的な買い物支援策を実施するとともに、中長期的な買い物環境の整備を図ること。

6 観光事業活性化のための支援について

- 1 「白川ダム河川空間のオープン化」の指定を有効に活用し、白川湖一体の活用策の再検討を行うこと。
- 2 インバウンド等の観光客等の誘客拡大に向けた商品造成の支援及び、特産品の開発やその販売拡大の取り組みを支援すること。

7 野生鳥獣被害対策について

- 1 鳥獣（特にクマ）から町民の安全を守るための取り組みを行うこと。特に児童生徒の安全対策には十分な対応策を講じること。
- 2 クマ被害をなくすためには猟友会会員の拡大も重要であり、その支援策を整備すること。
- 3 関係機関と連携し、緩衝地帯の再整備をはじめ、河川の支障木や不要果樹の伐採などに取り組むこと。

1 たかはし 高橋 勝 議員 P7下	どうなる暮らし応援「幸せになる条例」 改正は
2 えんどう 遠藤 芳昭 議員 P8上	急激な少子化に義務教育学校は
3 ふなやま 舟山 政男 議員 P8下	空き校舎となる手ノ子小学校の利活用 について
4 よこやま 横山 清彦 議員 P9上	鳥獣被害（クマ）に対する町の取組みは
5 かん の ふ じ お 菅野富士雄 議員 P9下	地域計画の課題は
6 まつやま 松山 和好 議員 P10上	町内会費が高すぎないか
7 えんどう 遠藤 純雄 議員 P10下	「儲かる農業」・「いいでブランド」の 確立
8 たかはし 高橋 亨一 議員 P11上	鳥獣（イノシシ）被害の対策
9 しまぬき 島貫 寿雄 議員 P11下	政治家として「嫌われる勇気」を持っ ているか

記載の内容は要約で、議員が自らの責任で執筆しています。

一般質問

録画中継を
見ることが
できます



町政の課題をただす

一般質問とは、定例会において各議員が住民の代表として行財政一般において、町当局の考え方や疑問をただすことです。

一般質問に9名が登壇

どうなる暮らし応援「幸せになる条例」改正は

町長

次期条例は、
制定しない方向で協議中

条例の基本方針は

質問 現条例は8年3

月31日までの期限とな
っているが、条例改正
に向けた基本方針は。

小中学生への入学支援、

高校生への通学支援、
地域移行のクラブには
移動支援の充実を。

町長 現時点で、次な

る条例は制定しない方
向で協議中。今後は、
その時々に必要な支援
策（額）を新年度予算
に計上していきたい。

こども園の統合は

質問 わくわくこども

園は、幼児部（萩生）
と乳児部（中）となっ
ている。近年の出生数
から、統合の検討が必
要では。

町長 乳児部施設の老
朽化や、すくすくこど
も園（椿）3歳未満児

の定員割れの現状から、
すくすくこども園に統
合することが望ましい
と考える。

子ども食堂の今後

質問 今年度から展開

されている子ども食堂
の来年度以降の計画は。

町長 今年度は町直営

事業として行った。次
年度に向けて町内企
業・事業者様を訪問し、
定期的な支援をいただ
いて運営できるように
していきたい。

追記 校名決定までの

スケジュールは、一般
質問の答弁によるもの
です。（詳細はP4）



たかはし まさる
高橋 勝 議員

急激な少子化に 義務教育学校は

教育長

少子化が進むからこそ
施設一体型の学校が必要

想定以上の少子化
小中学校再編

質問 町の出生数が昨年度17名、本年度は15名であり、極端な少子化となっている。義務教育学校も、将来は極めて小規模な児童生徒数となる。この際、小中学校の配置や義務教育学校を見直す必要がないのか。

安心して学べる教育
環境の整備が必要

教育長 教育委員会は少子化であろうとなかろうと、常に児童生徒が安心して学べる教育環境の整備に取り組む必要がある。

第一小学校も
廃校になる

質問 1学年10人台の学校はやむを得ないが、30億円を費やした真新しい第一小を閉校し、8億円をかけて義務教育学校を整備する。極端な少子化と、財政難の町にあつて、計画に疑問を感じてきた。「賢く縮小するまちづくり」が必要では。

義務教育学校の規模を再精査する

教育長 これほどの少子化は予想できなかった。義務教育学校開校年度の児童生徒数に合わせて教室数などを再



えんどう よしあき
遠藤 芳昭 議員

精査する。少子化だからこそ施設一体型の教育が必要であり、良い教育環境を与えるのが行政の責務だ。



核となる現在の飯豊中学校

空き校舎となる 手ノ子小学校の活用について

町長

地域のニーズを踏まえて
積極的に有効活用していく

廃校後の活用は

質問 廃校となる手ノ子小学校の活用について、町あるいは民間での利活用は。

「100DIVE」プロジェクトを実施している

町長 小学校統合による閉校後の校舎は、町にとって貴重な財産である。現在町では「100DIVEプロジェクト」を実施している。手ノ子小学校を起点とし、添川小学校と中津川小学校を巻き込みながら、原木市場、学びのスペース、ギャラリー&カフェなど持続可能



ふなやま まさお
舟山 政男 議員

な共創の場を育ていくという「空き校舎を活用した森の学び舎プロジェクト」が選定された。

現在は、事業の市場的・財務的・技術的な実現可能性をより高めていくためのセカンドステージに突入している。

町長 3年での持続可能な部分を評価運営基準に入れ、事業を選定している。また、5年後の自走に向けての話を進めている。

年次計画の必要性は

質問 年次計画を立てて取り組むことは。

必要性は理解する

町長 3年での持続可能な部分を評価運営基準に入れ、事業を選定している。また、5年後の自走に向けての話を進めている。



152年の長い歴史を閉じる手ノ子小学校

100DIVEプロジェクトとは
空き校舎の活用など、地域の課題や魅力をテーマに、新たなビジネスづくりを目指すプロジェクト。

鳥獣被害(クマ)に対する 町の取り組みは

町長

目撃情報に対してパトロール
による注意喚起アナウンス、
のぼり旗設置

猟友会への支援は

質問 目撃情報に対して
猟友会の方々の負担
が大きいと思われるが、
所属人数、平均年齢と
支援は。

町長 所属人数は23名
で平均年齢は58歳だが
70歳代の方が9名おら
れる。報酬は飯豊町特
別職の職員の給与に
関する条例に基づき、
日当5千円、半日当
3千500円となってい
る。

情報提供の見直し必要

質問 町公式ラインで
目撃情報に関する配信
時間がかかり、対応の
役に立たないのでは。

農林振興課長 状況を

確認し、詳細が分かっ
てから発信しているた
め時間がかかるが、ス
ポットの発信できる
ように対応していく。

不要果樹の対応を

質問 不要果樹の伐採
に県1/3、町1/3
で上限2万円の支援で
は処分までできないの
では。持ち主の許可を
得て干し柿づくりや柿
もぎ体験を開催してい
る。

町長 現状把握に努め

近隣の処分状況もみて
判断していきたい。柿
もぎ、干し柿づくりの
体験の開催については
前向きに考えたい。



箱ワナの設置風景

クマの捕獲条件は

質問 人里で捕獲した
子グマは学習能力があ
ると思うが捕獲した後、
山に放したの事実か。
駆除対応をしつかりす
るべきでは。

町長 条件はないが人
的被害を考慮するべき、
獣医師の判断で耳標を
付けて放した。



よこま きよひこ
横山 清彦 議員

地域計画の課題は

中山間農業の確立に向けて

町長

農地中間管理機構連携
災害防止の観点からも

数値は正確か

質問 地域計画が策定
されたが、数値は正確
か。

町長 農家へのアンケ
ート調査。農業委員会
が保有する農家台帳を
基に算出した数値であ
り、変更するにあたっ
ても農委の総会議案と

地域計画とは

集落単位で農地を
どう利用していくか、
その方針をまとめた
もの。10年後に誰が
どの農地を耕作する
か、1筆ごとに農家
を位置付けた計画
である。

して上程され、更新が
すすめられている。

中山間を守るには

質問 国の補助事業採
択要件には計画が重要
視されている。

中山間地域の農業を
守るためにも、耕作者
のいない遊休農地の発
生を抑えるべきと思っ
た、その対応は。

町長 後継者不足

などの理由で将来
の耕作者が決まら
ない農地は多い。
農地中間管理機構
からも指導を受け、
遊休農地が発生し
ないよう努めた
い。

農地の大区画化を

質問 農地の集積や効
率化、スマート農業の
導入には農地の大型化
等の基盤整備が必要と
思うが町の考えは。

町長 大区画化の基盤
整備では災害防止に繋
がる排水路も整備でき
るため、国、県と協議
をしていく。



かの ふじお
菅野 富士雄 議員



町内全地区において
話し合いが行われた

1. 町内会費が高すぎないか 2. 公共工事が子供の借金に

町長

**町内会費は各自治会の裁量です
無駄のない公共施設を建設**

高額な町内会費

質問 飯豊に戻る前、私が居た所では町内会費は月300円、年間3千600円だった。

ところが飯豊に戻って見たら1回目の集金額が5千円で年間約3万円にもなった。飯豊町はどこでもこんな金額らしいが、どう思うか。

中学校後援会	43,000
小学校後援会	43,000
区民会会費	172,000
子供育成会費	21,500
交通安全協力費	12,900
日赤社費	28,595
満昭神社氏子費	132,000
社会福祉協議会費	73,100
赤い羽根共同募金	30,100

多くの諸費を含む町内会費

町長 自治会で集金されている会費に関して

は各自治会の裁量に委ねられているので、それぞれの自治会において検討していただきたい。

再質問 まさに期待したとおりの答弁に感謝する。何かの法律や規則に基づいているかどうかを伺いに行くこともあると思う。

立派な施設が負担に

質問 近年は飯豊町に限らず公共施設が立派すぎるのではないか。

例えば学校。その年に生まれた子供の数を見れば将来の学校児童数などはすぐに見当が付くはずだが、第一小、



まつやま かずよし
松山 和好 議員

第二小などは新しいにも関わらず、統合するから不要になるという現嵐町長の責任ではないが、こんな事を繰り返しては子供たちに巨額の借金を背負わせることにならないか。



総事業費30億円の
第一小学校は2016年完成

町長 そうならないように適正な規模で建設するように心がけていく。

「儲かる農業」、 「いいでブランド」の確立

町長

丸ナスを検討

儲かる農業の振興は

質問 令和の米騒動で価格高騰となったが、

令和4年から肥料等経費が急激に増加。畜産においても飼料費が増加しています。現状認識と今後の振興はいかにおこなうか。

町長 農業法人数が29になった。面積を拡大することで経費節減を図り収益を上げる。またアスパラの次に振興する作物として丸ナスを検討している。

いいでブランドの確立

質問 優れたものがたくさんある本町で、個別の販売戦略から、町をブランド化して売り込む手法はとれないか町長の所見を伺う。

町長の所見を伺う。



眺山から役場方向を望む。
(2025/11/29撮影)

町長 今でも「めざみの里いいで」などキャッチフレーズはある。しかし「これぞ飯豊町」という象徴的なものがない。今後、五感に訴えられるもので積極的発信していく。



えんどう すみお
遠藤 純雄 議員

鳥獣（イノシシ）被害対策は 新しい農業政策は

町長

くくり罠や電気柵で
転作互助会の継続を
支援していく
対応していく

町のイノシシ対策は

質問 畦畔の掘り起こし、稲の踏み倒し等のイノシシ被害対策は。

足くり罠で対応

町長 イノシシはくくり罠で捕獲している。

令和5年2頭、令和6年7頭、令和7年は2頭捕獲した。わなの設置は町猟友会の有資格者で行ってもらっている。イノシシ被害を防ぐには、侵入防止の電気柵が最も有効ではある。電気柵設置や畦畔復旧などの支援事業があるので活用してもらいたい。

鳥獣保護管理法の対応は

質問 鳥獣を保護し、個体の数を保護管理する法律が改正されたが、町の対応は。

クマの駆除に対応

町長 9月1日に法改正があり、クマ等の有害鳥獣に対し、緊急銃猟が可能となり、一件実施した。

米生産目安のバランスは

質問 米は増産の方針であるが、米作付けが増えれば町独自の転作互助会の仕組みが崩れるのではないか。

町長 転作互助会の継続に向けて、農家に転作の協力をお願いしていく。町も助成していきたいと考えている。



イノシシによる畦畔掘り起こし被害（令和2年中津川状況）



たかはし きょういち 議員
高橋 亨 一

政治家として「嫌われる勇氣」 を持っているか

町長

嫌われることを恐れず
自分の判断に責任をもつ

政治家としての「嫌われる勇氣」は

足度N.O.1のまち「実現に向けて歩みを進めて行きたい。」

「義務教育学校名再検討」の署名活動の評価

質問 今回の署名数は看過できない数字です。校名問題が町民の大きな関心事だったことが明白となりました。今回の署名活動の評価と教訓は。

町長 まちづくりで大切なことは好かれることではなく、町民からの信頼を得ることです。嫌われることを恐れてなにも成し遂げられなかったとならぬ様、自分の判断に責任を持ち、志を高く、「暮らし満

町民の声を聞き、それを反映させ、行政も謙虚でなければ町民が、ハッキリとNOという声を上げる程に町民が行政に大きな関心を持ち、厳しく評価する様になった証だと思いが、どう受け止めるか。

町長 住民主体の町づくりの基本理念どおり町民一人ひとりの声を大切にしていきたい。

質問 財政難の折、義務教育学校化の見直しはないか。

町長 急激な少子化が進行している現在、施設一体型の義務教育学校が教育環境の最適化に資するものと考えている。



しまぬき ひさお 議員
島貫 寿雄

脱炭素先行地域推進事業の 確実性は

総務文教常任委員会

各課からの主な報告

◆脱炭素先行地域事業の進捗について

各地区で開催した住民説明会へ参加者は51名。小水力発電事業及びバイオガス発電事業の実施企業は両方ともに東北おひさま発電㈱に決定した。事業の進捗は若干遅れている。

◆町県民税の申告開始について

期間 令和8年2月5日から3月16日。

◆クマ被害防止対策連絡会議より報告

(12月9日現在)
捕獲頭数 37頭
(緊急銃猟1頭)
目撃情報 105件
(総務課)



できれば会いたくない

◆第二小・手ノ子小・添川小統合準備状況

・手ノ子小学校閉校式が11月15日に開催された。

・3校全保護者会議が11月25日に開催された。

◆乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)について

親の就労要件を問わず0歳6カ月から満3歳未満の未就園児が利用できる事業です。実施場所はすすきこども園。

(教育総務課)

主な質問と答弁

●脱炭素事業説明会への参加者数が少ない

横山委員 各地域での説明会への参加者数がたった51名というのは少なく、アンケートからも町民の関心が低いことが見えてくるが今後どうするのか。

住民課長 これから再度説明会を行なうなど、啓蒙活動を行なっていく。

町民の理解を得たい。

●脱炭素になるのか

松山委員 そもそも本

当に脱炭素になつていくのか、いまだに説明されていないが。

生活環境室長 実際に

脱炭素の効果があるのかについては近日中に説明する。

●米坂線復旧担当者会議

遠藤(芳)委員 米坂線復旧担当者会議に山形

鉄道が入っているが、どういう立ち位置で参加されているのか。

企画課長 復旧の形に

は様々な形態があり、三セクとなれば実際に運行しているのが山形鉄道ということで、参考意見をうかがうためにお願している。

●小学校統合

屋嶋委員 令和8年か

らの小学校統合による教職員の負担増に対する配慮は。

教育長 確かに事務負担は増えるものと思わ

れる。集中した負担にならないようにするな

●職員採用試験

菅野委員 職員採用試

験の結果は。

総務課長 今のところ

初級職員の合格者はいない。上級一般職5名、看護師1名が内定している。

いる。



ながめやまバイオガス発電所

各課連携して十分な熊対策を

産業厚生常任委員会

各課からの主な報告

◆令和7年度産米作況単収指数及び一等米比率

(1) 作況単収指数

山形県全体 102

置賜地域 100

(2) 一等米比率

置賜地域 91・9%

飯豊町 96・3%

◆令和7年度の熊対策の現状について

7年度捕獲頭数37頭

(前年比+33頭)

内 緊急銃猟 1頭

7年度目撃情報105件

(前年比+88頭)

(農林振興課)

◆町道岳谷大日杉線復旧工事について

関係機関との用地の協議に時間を要したため今年度の実施をとりやめ令和8年度に実施。

(地域整備課)

◆白川荘の冬季営業期間

12月1日～

令和8年2月末

定休日 (月)火

宿泊 (金)土のみ

宴会 予約対応

食堂 (土)日のみ

(商工観光課)

◆乳児等通園支援事業について

①事業開始日

令和8年4月1日

②対象者

0歳6か月～

満3歳未満

③実施予定施設

認定こども園

④利用時間

こども一人あたり

月10時間

⑤利用料

1時間300円

(健康福祉課)

主な質問と答弁

●クマ対策として

舟山委員 クマ対策の

一つとしてバッファゾーンの現状は。

農林振興課長

県の熊対策パッケージで河川の草刈り等がある。合わせて重点的な対策を検討する。緊急銃猟など駆除に目を向けられているが、基礎的な部分に力を入れていく。



収穫されない柿の実

●不要果樹の伐採が少ないのでは

島貫委員 県1万円、町1万円の伐採の補助金があるのに利用者が少なすぎるのでは。周知不足では。

農林振興課長 6年度熊の捕獲が6頭と少なく見込みが甘かった。来年度は県の「クマ対策パッケージ」も利用し、周知を高め不要果樹の伐採を進めたい。

●熊出没情報について

島貫委員 クマ出没の周知が遅いのでは。

農林振興課長

ライン登録者にはラインを活用している。各課連携し広報回数を増やすなど、より重点的な割り振りした広報活動をしたい。

●ロゴマーク活用は

屋嶋委員 観光庁の持続可能なロゴマーク使用が認定された。このロゴマークを活用しての観光PRの現状は。

商工観光課長 現在はまだ活用はしていないが今後活用していく。

●乳児等通園支援事業について

高橋(亨)委員 子ども誰でも通園制度とは。

健康福祉課長 全ての子供の育ちを応援するため、保護者の就労状況にかかわらず利用できる新たな通園制度。

●フォレストいいで再生計画について

菅野委員

計画が策定されたが建物をどのように活用するのか。

商工観光課長

形を変えずに内装や設備を改修しながら再生していく。

●令和7年度産米について

遠藤(純)委員 令和7年度産米の基準単収が624kgと高すぎる。実際はもっと低いのでは。低くなれば、つや姫・雪若丸の配分面積が増えるのでは。

農林振興課長 国が町内の田をランダムに坪刈りをして収量を調査している。その収量の結果である。

●白川荘の冬季営業について

遠藤(純)委員 営業が時短になり従業員はどうなるのか。

商工観光課長 冬季間は、県道除雪、まちづくりセンターの清掃、インバウンドの受け入れ、しらすぎ荘での送迎等に従事してもらう。

常任委員会の現地踏査を追う

豪雨災害（令和4年8月）現場の今は

天養寺観音堂の復旧状況は

総務文教常任委員会 11月11日

豪雨災害により、裏山の法面が崩れお堂を直撃した。修復には、山形県文化財保護事業費補助金や保存会によるクラウドファンディングを充当した。工事は、降雪前の終了を予定している。



現在の萩生水源の状況は

産業厚生常任委員会 11月17日

豪雨災害により、萩生水源（主に六郎沢及び大平）が町道大平線とともに導水管が流出した。現在、導水管埋設工事を行っているが、町道が崩落しており、現場に重機が入れないため人力搬入、埋設を行っている。



研修会・総会等への参加（9月～11月）

◆置賜地方町村議会研修会

・10月3日

・白鷹町中央公民館

【講演】しらたかマルチワーク事業協同組合の取り組みについて

◆飯豊・川西両町議会議員交流会

・10月7日

・浴浴センターまどか

【講演】旧川西町役場跡地活用について



◆県議長会議員研修

・10月27日

・ビックウイング

【研修①】災害時の議会・議員の役割

【研修②】議会改革・議会活性化のための議員活動

◆西置賜地区市町議会連絡協議会

・11月17日・おぐに開発総合センター

【総会】役員改選（申し合わせ事項で、会長は開催市町議会の議長がこれにあたる）では、

【スポーツ交流・パークゴルフ】

団体優勝 飯豊町議会

次期開催地が長井市となっており、会長に内谷長井市議会議長と決定した。

【講演】「白い森」ブランド推進の現状と今後について



※他に、道路大会へ参加。

◆置賜地域道路整備促進大会

・10月1日

◆新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会飯豊大会

・10月25日

議会広聴活動の取り組みを学ぶ

全議員研修：10月23日～24日 栃木県

町民の声を反映へ

栃木県高根沢町議会 たかねざわ カフェ・ド・ギカイ

地域連携「ふるさと学習」

栃木県小山市立絹義務教育学校 きぬ



活発な広聴活動を目指して研修

議会広聴活動「カフェ・ド・ギカイ」は、平成24年から開始した。しかし参加者が毎回同じ方であることや参加者の減少などから、令和元年から各団体に直接打診し、開催する方法に変更した。現在ではすべて議会側からのオファーで開催している。

広聴後は、内容を議会だよりに掲載し、政策提言に反映させている。その後、町からの回答は議会だよりで報告するという一連の流れがシステム化された取り組みとなっている。町民の声が町政に反映されていることに対し、議会への高評価となっている。

飯豊町議会12月定例会にて開校時期を決定するとしている義務教育学校について、本町において必要なことを学ぶため、この度の視察研修となった。

今回の視察場所となった絹地区は、人口減少地域となっており、9年前の平成29年4月に開校し、現在の最上級生9年生が開校時に入学した生徒となっている。この地区は昔から養蚕が盛んな地域であり、学校においても地場産業である絹糸の生産振興と伝統文化を継承することを目的に、地域との連携活動で「ふるさと学習」として養蚕に取り組んでいる。



9年前からの取り組みを学ぶ

絹中学校）を渡り廊下で結んで使用しており、無駄のないそして児童数の減少に対応した学校経営となっていた。

●高根沢町議会

カフェのような雰囲気のもと、参加者が主体となって課題解決や合意形成を図るワークショップ形式を取り入れ、好評を得ている。

●絹義務教育学校

養蚕から絹織物ができるまでの一連の工程を、学年ごとに分担して体験し、地域産業との連携が深い教育活動を行っている。

補足



ふるさと学習「蚕の部屋」かいこ

小規模事業者支援を 人口減少地域を守る

町商工会
黒沢地区

意見交換会

町議会では、毎年地域や団体との意見交換会を開催しています。本年度はこれまでに3団体（観光協会・商工会・黒沢区協議会）と開催しました。今号では、町商工会と黒沢区協議会との交換会を報告します。急激な人口減少や物価高騰による経済の落ち込みによって、商業はじめ町民生活が非常に厳しくなっており、買い物・飲食店支援や除雪等の困り事が議題となりました。

いただいたご意見、話し合われた主な内容を記載します。今後、議会活動の中で取り組むとともに、町の政策に反映するよう、町長に提言してまいります。

飯豊町商工会

11月4日

買い物支援と

原油価格高騰対策を

中小企業・小規模事業者への支援要望を受ける

■買い物支援対策を

緊急買い物支援策として移動販売車の運行。宅配サービスへの支援。買い物支援バスの運行。小規模スーパー等の買い物環境整備。

■飲食店へ支援を

原油価格高騰の影響が大きい。ため飲食店活

用促進の支援。除雪費用の支援。

■中小企業へ支援を

中小企業振興事業費補助金の継続

■商業への支援を

身近なスーパーの閉店で町民の買い物困難となっている。また町の商業機能が維持できざる支援が必要。

○プレミアム商品券発行事業補助金の継続

○商業のDX化の推進（電子化の推進）

■地域振興（青年部）

町内への交流人口拡大のため、町のランドマークとなる公園を整備してもらいたい。



商工業の課題解決に熱心な議論が行われた

黒沢区協議会

12月1日

地域の現状を見つめ 将来への対応を今から

【話し合いのテーマ】
地域での困りごとや不安をどう解決するか

地域づくりに熱心な黒沢地区の皆さん。今回も35名の方にお集りいただき、地区ごとに3つのグループに分かれて熱心な議論が交わされました。

○若者の減少

地域の行事等の担い手である若者が少なくなっている。子育てと教育の充実が求められている。

○高齢者の除雪

困っている高齢者が多い。除雪支援の仕組みも考えていく必要がある。

○様々な「役員」
地域で担っている様々な役が多い。高齢化とともに大変になってきている。見直しや整理も必要だ。

○買い物・通院
高齢者は現在も大変だが、これからますます不安である。ほほえみカーの拡大や移動販売など考えてほしい。



地域の困りごとが地域づくりの出発点。議会も共に取り組む

議会の主な動き (1～3月)

- 1月9日(金) 議員自主研修会
町民公開研修「鳥獣被害の防止について」
15:00より 総合センターあーす
- 11日(日) 消防出初式
- 26日(月) 例月出納検査
- 29日(木) 置賜広域行政事務組合議会
議会運営委員会・各委員会
- 30日(金) 置賜地方町村議長首長懇談会
- 2月4日(水) 置賜広域行政事務組合議会 全員協議会
- 6日(金) 置賜広域病院企業団議会 議会運営委員会
- 10日(火) 置賜広域病院企業団議会 本会議
町議会運営委員会・全員協議会
- 13日(金) 県・置賜町村議会議長会定期総会
- 16日(月) 県町村監査委員協議会定期総会
- 19日(木) 置賜広域行政事務組合議会全員協議会・定例会
- 24日(火) 町議会運営委員会
- 25日(水) 例月出納検査、西置賜行政組合議会全員協議会
- 26日(木) 町議会全員協議会
- 3月3日(火) 町3月定例議会 一般質問
- 4日(水) 一般質問
- 5日(木) 議案審議
- 6日(金) 常任委員会
- 10日(火) 予算特別委員会(総務文教所管)
- 11日(水) 予算特別委員会(産業厚生所管)
- 13日(金) 議案審議(最終日)
- 14日(土) 中学校卒業式
- 18日(水) 西置賜行政組合議会全員協議会
各小学校卒業式
- 25日(水) 例月出納検査
西置賜行政組合議会運営委員会・定例会

一部事務組合報告

西置賜行政組合議会

●消防ポンプ自動車の取得

3月26日定例議会が開催され、令和7年度一般会計予算23億1034万5千円、令和6年度一般会計補正予算（190万7千円の組み替え）、繰越明許費に係る専決処分、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台8712万円、他4議案が上程され可決しました。

6月9日臨時議会が開催され、専決処分3件（小国分署庁舎建設工事請負工事の締結5億3680万円、災害対応特殊化学消防ポンプ自動車の取得9988万円、他）、令和7年度一般会計補正予算788万9千円（特別職報酬、防火扉修繕）他1案件が上程され可決しました。



災害対応特殊水槽付
消防ポンプ自動車

置賜広域行政組合議会

●クリーンセンター解体工事の補正他

令和7年5月30日に臨時議会が開催され、一般会計補正予算で米沢・南陽クリーンセンター解体工事2億61万円の増額、千代田クリーンセンター焼却施設発電室2億3100万円、不燃ごみ運搬車・燃却灰運搬車2台5838万円の契約締結を可決し、議長に安部春美（小国町議長）を選出しました。8月18日定例会が開催され、米沢クリーンセンター解体工事4億8400万円、千代田クリーンセンター焼却施設維持補修工事4億1800万円、財産の取得（救助工作車1台）1億5620万円、他2つの条例改正案件が上程され可決しました。



千代田クリーンセンター管制室

置賜広域病院企業団議会

●新潟県スポーツ医科学センターを視察

10月30日定例議会が開催され、令和6年度決算として収入180億5千万円に対し、支出188億5千万円となり、差し引き8億9百万円の赤字となった。これは外来患者収益が1億7千万円増加したものの入院患者が減少し、2億1千3百万円減少したことによるものです。また、令和7年度会計決算精査に伴う1億2932万6千円増額補正予算が上程され、可決成立しました。

11月6～7日議員行政視察が行われ、新潟大学魚沼基幹病院及び新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターに赴き、三次救急やメタボ予防の実践的取り組みを視察研修してまいりました。



新潟県スポーツ医科学センター
視察 11/7

新年のご挨拶



飯豊町議会議長

屋嶋 雅一

新年あけましておめでとございます。輝かしい新春を迎え、町議会を代表し新年のご挨拶を申し上げます。昨年を振り返ってみますと、原油価格を含め物価高騰が私たちの家計を圧迫し続けました。温暖化の影響により町内の果樹や野菜などに大きなダメージも与えました。また、クマの出没が過去最高となり、人身被害も発生するなどの一年だったと思います。本年は、安心して安定した生活ができる年であることを願うばかりです。

議会としては、議員一人ひとりの資質の向上を図り、今まで以上に対話と議論を大切にし、皆様の声に耳を傾けながら、公正かつ効果的な政策の実現に全力を尽くして参りますので、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げますとともに、この新しい年が、皆様にとって素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げ新年のご挨拶いたします。

議会では広聴活動を行っています

町議会広報公聴常任委員会では、町民の皆様から広くご意見をいただき議会活動に活かすため、公聴活動として「町民の皆様との意見交換会」を行っています。

当方で出向きますので、ご希望の団体は是非お申し込みください。よろしくお願いいたします。

問い合わせ先：議会事務局 TEL0238-87-0527 Mail: i-gikai@town.iide.yamagata.jp



飯豊町議会報 縮刷版

販売します

町議会では平成26年飯豊町議会報縮刷版第1巻を作成し、町民に頒布しております。わずかではありますが残っておりますので、希望される方に販売することいたしました。

A4版 全1147ページ 箱入り
議会だより第1号～第150号まで
収録

1冊 4000円(税込)

ご希望の方は

飯豊町役場内 議会事務局まで

電話でお申込みください。

0238-87-0527

町民からのメッセージ「私からひと言」

〈地域で出来る事から取り組むことが必要〉

第7回

ゆいの里除雪支援隊

鈴木 智

さん(高峰)



鈴木 智さん

議会だよりでは町民の皆様の活躍やご意見を紹介しています。今回は高峰地区在住で75歳以上の一人暮らしの方で除雪が困難な方を対象に除雪の支援をしていただく、ゆいの里除雪支援隊、隊長の鈴木智さんにお話をお聞きしました。

除雪支援隊を結成された思いとは

除雪支援で配慮していることは

町に望むこと・活動で心がけたいことは

鈴木さん 宅道の除雪支援は令和3年から行っているが敷地内の除雪について困っている方から相談されていたため協力してもらえそうな方に声掛けをして新たに7名で取り組むことにしました。

鈴木さん 高峰地区は豪雪地帯なので自分の家の除雪もしなくてはいけないため、依頼してくれた高齢者が不安にならないよう支援していきたい。雪が積もってしまうと敷地内の障害物がわからなくな

鈴木さん 支援隊の事務手続きを町が窓口となつて取り組んでいた。除雪支援をしてくれる隊員が健康で安全に作業ができ、こまっている高齢者の方から喜んでもらえるように支援していきたいです。

支援を希望されておられる世帯数は

鈴木さん 高峰地区は89世帯あり、内75歳以上の一人暮らしが13世帯で、調査を実施した結果4世帯の方から依頼がありました。



降雪前の敷地内を確認する隊員

るので降雪前に目視での確認と写真を撮って不安な時は確認できるように対応する事が大変でした。

取材を終えて

本町の高齢化率は40パーセントを超え高齢者世帯の一番の困りごととは豪雪地で暮らすための除雪だと思っています。高齢者世帯に対して多種多様な除雪支援を町に働きかけてまいります。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は全国的にブナの実、どんぐりが凶作で農地や人里で熊の目撃や被害が多数ありました。冬眠しない熊も出ているようですので注意いただきたいと思います。

2026年は丙午(ひのうま)で改革、挑戦、刷新に向く年とされていますので、新たなことに挑戦してみてはいかがでしょうか。

(横山記)

議会定例会の傍聴 お待ちしております

次の定例会開催は**3月3日(火)**の予定です。

インターネットからでも見るができます。
議会のホームページでご確認ください。

お問い合わせは議会事務局へ TEL 0238-87-0527

発行責任者
議長 屋嶋 雅一

発行
広報公聴常任委員会

委員長 遠藤 芳昭
副委員長 横山 清彦
委員 島貫 寿雄
松山 和好
遠藤 純雄
高橋 勝